

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input checked="" type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> その他（人命尊重）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「相手意識を持ち、自ら考え、協働して課題の解決を図ろうとする生徒の育成」を目標に、持続可能な開発のための教育目標として、問題解決力、体系的な思考力（問題や現象の背景の理解、多面的・総合的なものの見方）を育て、持続可能な発展に関する価値観を見出す力を身に付けることとしている。そして、ESDを「大きな夢を抱き未来を創る子どもの育成」と捉え、ESDの実践を通して、普段の学校生活や自分の将来の人生設計にも生かし、人々の役に立つような仕事をしたいと思えるような志をもった進路の実現に繋げている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○防災・減災学習

市役所の方や消防署の方を招き、令和2年に発生した大牟田市豪雨災害を教訓に、実際に災害に遭ったときの対応に関する体験的な学習を行った。

災害の種類や「自助・公助・共助」の三助といった防災・減災に関する基礎知識について理解を深めた。そして、その発展の場として、実際に使われる段ボールベッドや簡易テントを組み立てて、避難所の雰囲気を経験することができた。また、グループワークでは、非常持ち出し袋の中身について班で考え、その後全体での交流を通して、自然災害を身近なこととして捉え、自分のこととして学習を深めた。



○福祉学習

福祉学習として、車いすバスケットとボッチャに挑戦した。実際に車いすに乗車する体験を通して、その操作の難しさを学んだ。また、講師から、車いすで生活する上で困難なことなどを学んだ。

この学習をとおして、「障がい」は人が作るものであり、考え方や工夫次第で取り除くことができる、ということ学んだ。そして、広い視野をもち、相手の立場に立って物事を考えることが大切だということ学んだ。



○救急救命講習

大牟田市消防本部より講師を招き、救命実習を行った。そして、心臓マッサージ(胸骨圧迫)、異物を詰まらせたときの背部殴打法、腹部突き上げ法、AEDの使用方法などを学習した。

この受講を通して、生徒たちは、一番大切なことは「助けようとする勇気」だと考えた。「誰かがしてくれるだろう」ではなく、「自分がやるんだ」という強い勇気をもって、もし事故に遭遇したときは、焦らずに落ち着いて行動したいと考えるようになった。



3 今後の活動計画

これからも体験活動やゲストティーチャーを招いた活動を設定していきたい。

第1学年：防災・減災と福祉学習に係わる活動

- ・防災学習 : さまざまな災害を想定した学習 (SDGs3, 8, 11)
- ・地域学習 : 大牟田検定による学習 (SDGs9, 11)

第2学年：キャリア学習と世界遺産に係る活動

- ・福祉学習 : GTを招いた車いす体験学習 (SDGs3, 10, 17)
- ・キャリア学習 : GTを招いた講話や職場訪問の学習 (SDGs8, 9, 11, 17)
- ・世界遺産・文化財学習 : 京都での自主研学習 (SDGs8, 9, 11, 17)
- ・地域学習 : 大牟田検定による学習 (SDGs9, 11)

第3学年：進路学習と福祉事業に関わる活動

- ・進路学習 : 高校での授業体験学習 (SDGs4, 8, 9)
- ・防災学習 : GTを招いた救急救命講習における体験学習 (SDGs3, 17)
- ・地域学習 : 大牟田検定による学習 (SDGs9, 11)

全学年：フラワープロジェクトを通じた地域とつながる活動 (SDG s 11, 17)